

# 令和7年度 学力向上のための重点プラン【小学校】 新宿区立戸山小学校

■ 学校の共通目標

【HP公開用・様式1・令和8年3月5日】

授業作り	重点	主体的・対話的で深い学びにつながる学習指導を展開し、資質・能力を身に付けさせると共に、確かな学力の向上を目指す。
環境作り		校内研究を通して、望ましい人間関係を形成し、集団の一員として学級や学校における諸問題を解決しようとする自主的・実践的態度を育てる。

■ 学年の取組について

学年	学習状況の分析 (各種調査から)	学校が取り組む目標 (日常の授業の様子から)	目標達成のための取組
1 学 年		<ul style="list-style-type: none"> <li>・ひらがなの書き順やとめ・はね・はらいなど、字形を整えて丁寧に書く意識をもたせる。</li> <li>・場面の様子を理解し、スムーズに音読できるようにする。</li>   <li>・数の大小の関係性を理解できるようにする。</li> <li>・場面を理解して正しく立式できるようにする。</li> </ul>	<ol style="list-style-type: none"> <li>①空書きで書き順をしっかりと確認する。</li> <li>②音読活動を授業や宿題ですすんで取り入れ、読む力の指導の充実を図る。</li> <li>③図書館スタッフと協力して様々な種類の本に触れる機会を設ける。</li> <li>④ブロックなどの具体物を操作する学習活動を展開する。</li> <li>⑤ICT 機器を活用（視覚的理解）する。</li> <li>⑥デジタルドリルや算数ワークを活用する。</li> </ol>
2 学 年		<ul style="list-style-type: none"> <li>・気持ちや様子を表す言葉など、様々な言葉の表現を知り、使えるようにする。</li>   <li>・助詞を正しく使い、伝えたいことを文で表現する。</li> <li>・漢字の筆順や使い方を身に付ける。</li>   <li>・数の位やまとまりを意識して問題に取り組めるようにする。</li> </ul>	<ol style="list-style-type: none"> <li>①分からない言葉は全体で調べて確認したり、複数の表現を確認してから作文を書く活動に入ったりするなど、言葉に触れる機会を意図的に取り入れる。</li> <li>②デジタルドリルや算数ドリル・漢字ドリルを活用した反復学習に取り組む。</li> <li>③漢字の小テストを定期的実施し、反復練習を重ねることで新出漢字の確実な定着を目指す。</li> <li>④具体物や図を活用して視覚的にとらえたり、考えを表したりできるようにする。</li> </ol>
3 学 年	<ul style="list-style-type: none"> <li>・正確な四則計算の能力の向上が必要である。</li> <li>・自分の意見や考えを紙面に正しく表現する力の向上が必要である。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・日々の反復学習により、四則計算の定着を図っていく。</li> <li>・日々の学習による漢字の定着を図る。</li> <li>・様々な教科で自分の考えや思いを書く活動を取り入れる。</li> </ul>	<ol style="list-style-type: none"> <li>①デジタルドリルを活用した反復学習に取り組む。</li> <li>②漢字の視写の時間を確保する。</li> <li>③自分の考えや学習の感想を書く機会を積極的に取り入れる。</li> <li>④学習の中で自分の意見を学級全体や小グループで伝え合う機会を確保する。</li> </ol>

<p>4 学 年</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・言葉の読み書きや意味、使い方についての定着が必要である。</li> <li>・正確な四則計算や長さや面積の測定に課題がある。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・意味調べをする時間を意図的に作る。</li> <li>・日々の学習による漢字や計算の定着を図る。</li> <li>・数の位やまとまりを意識して問題に取り組めるようにする。</li> <li>・長さや面積などの量感を身に付ける。</li> </ul>	<ol style="list-style-type: none"> <li>①デジタルドリルやドリルを活用した反復学習に取り組む。</li> <li>②言葉と意味をまとめるノート「言葉の宝箱」を作成していく。</li> <li>③数値を計算しやすいものに変えたり、具体物を用いたりしながら、解き方を理解できるようにする。</li> <li>④長さや面積を実感できるように、算数的活動を充実させる。</li> </ol>
<p>5 学 年</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・国語では、「書くこと」「読むこと」の力の向上が必要である。</li> <li>・算数では、「数と計算」「図形」の領域の力の向上が必要である。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・内容の中心や段落ごとの要点を整理しながら読めるようにする。</li> <li>・辞書の活用や読書活動などを通して、語彙力の向上を目指す。</li> <li>・自分の意見や考えを表現する力を身に付ける。</li> <li>・計算の決まりを正しく理解し、正確に計算できる力の定着を図る。</li> <li>・図形の特徴を整理し、正確に作図することのできる力を身に付ける。</li> </ul>	<ol style="list-style-type: none"> <li>①段落ごとの要約や、筆者が一番伝えたいことをまとめること、接続語・指示語に注目しながら読むなどの活動を行う。</li> <li>②既習内容（漢字・計算）の反復練習に取り組む。</li> <li>③図書館スタッフと協力して様々な種類の本に触れる機会を増やす。</li> <li>④文章構成を意識した上で自分の考えを書く機会を確保する。</li> <li>⑤デジタルドリルを中心とした様々な学習ツールを積極的に活用する。特に、デジタルドリルを活用し、計算練習に繰り返し取り組む。</li> <li>⑥三角定規、分度器、コンパスなどの道具を使う機会を意図的に取り入れる。</li> </ol>
<p>6 学 年</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・漢字の読み書きについて力を伸ばす必要がある。</li> <li>・国語「言葉・情報・言語文化」と「書くこと」の2領域について力を伸ばす必要がある。</li> <li>・算数では、特に「数と計算」「図形」「データの活用」の単元での力を伸ばす必要がある。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・漢字学習を日常的に継続して行い、既習漢字について定着できるようにする。</li> <li>・語彙を増やす。また、語感や言葉の使い方に対する感覚を意識して、語や語句を使えるようにする。</li> <li>・様々な教科で自分の考えや思いを書けるようにする。</li> <li>・算数では、「数と計算」「図形」「データの活用」の既習事項に触れる機会をもつことで、学習内容の定着を図るようにする。</li> </ul>	<ol style="list-style-type: none"> <li>①既習内容（漢字・計算）の反復練習に取り組む。</li> <li>②デジタルドリルを中心とした様々な学習ツールを積極的に活用する。</li> <li>③学校図書館などを利用し、日常的に読書活動に取り組む。</li> <li>④辞書を活用して、日常的に意味調べを行う。</li> <li>⑤学習のまとめや振り返りなど、自分の考えや意見を文章化する機会を各教科で取り入れる。</li> <li>⑥算数では、数の概念について繰り返し振り返ることで、既習事項の活用を促す。また、授業の際に具体物を活用して空間的なイメージをもてるようにする。</li> </ol>